

# 第 1 回しながわ・えばら多職種合同研修会

「病院における退院支援・多職種連携の取り組み

～地域とのつながりを考える～」

開催日時：2018. 2. 19 (月) 19:30～21:00

場 所：品川区役所 第3庁舎 講堂

参加費：無料

プログラム：

開会挨拶 安澤 龍宏 医師(品川区医師会理事・安澤内科医院院長)

行政説明 「高齢者を取り巻く多職種連携についての品川区の取り組み」  
品川区高齢者福祉課 課長

パネルディスカッション；

①「大学病院からの地域連携」(15分)

昭和大学病院 総合相談センター退院調整看護師 伊藤 浩 氏

②「地元密着型急性期病院の退院支援について」(15分)

東芝病院 医療福祉相談室 MSW 平林 朋子 氏

③「病院と地域をつなぐ退院支援の取り組み～退院支援窓口からの報告～」(15分)

NTT 東日本関東病院 総合相談室 看護長 宗川 千恵子 氏

④討議・意見交換(20分)

閉会挨拶 原 正博 医師(荏原医師会会長・原医院院長)



【主催】 品川区 ・ 一般社団法人 荏原医師会 ・ 一般社団法人 品川区医師会(当番会)

【問合せ先】

品川区医師会 地域包括ケア担当 (藁谷) TEL：03(3471)5154 FAX：03(3471)5145

品川区高齢者福祉課 (野間) TEL：03(5742)6802 FAX：03(5472)6881

※会場に関するお問合せは品川区高齢者福祉課までお願い致します。

## パネルディスカッションテーマ

### 「病院における退院支援・多職種連携の取り組み～地域とのつながりを考える～」

品川区内の在宅療養に関わる多職種の連携は、少しずつ深まり、広がってきていることを感じています。病院との連携についても、早期退院、スムーズな在宅移行に向けて、同じ目的の元に連携が進んできているのではないのでしょうか。

しかしながら、病院の中で、地域医療連携室で、地域とのつながりをどのように考えているのか、また、早期の在宅療養移行支援としてどのような取り組みをしているのか、病院の中の活動については知らないことも多いと思います。

「なんでこんな状態になるまで放っておいたの?」、「インスリン注射?この人一人暮らしで認知症なんだけど…」、お互いに思うところは今までもたくさんあったはずです。

「顔の見える関係」づくりによってうまくいっている方も、まだそこまで病院との関係性に自信がない方も、病院の立場からの在宅療養移行支援の難しさ、本音を聞いてみましょう。

病院の皆さんも地域の声を聞いてみましょう。

お互いにさらに一歩近づける機会に。

～パネリスト紹介～

昭和大学病院 総合相談センター退院調整看護師 伊藤 浩 氏

1998年、昭和大学付属烏山看護専門学校卒業。同年、昭和大学病院入職 ICU 配属。訪問看護ステーションでの経験を経て、昭和大学病院へ戻り、各科病棟配属の後、2009年より総合相談センターに配属。現在は退院調整看護師として活躍中です。

東芝病院 医療福祉相談室 MSW 平林 朋子 氏

1990年、株式会社東芝 東芝中央病院(現東芝病院)に MSW として入社。現在に至る。

「東芝病院に入院＝平林さんに連絡」と思う方も少なくないのではないのでしょうか。

NTT 東日本関東病院 総合相談室 看護長 宗川 千恵子 氏

看護師、保健師免許取得後、NTT 東日本関東病院入職健康管理科に配属。職員の健康管理、人間ドック、各種健康相談業務に就く。1992年より総合相談室にて退院支援、在宅療養支援に従事。1993年より訪問看護を展開、2000年より退院調整看護師として従事し、途中予防医学センターへの異動を経て、2017年4月より現職。相談室の取りまとめ役です。